



SAGAMI

No.1 Noodle Restaurant Company

うどん
りん

第44期 報告書 | 2013年4月1日~2014年3月31日

証券コード:9900



■株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第44期決算のご報告にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度は、政府による経済・金融政策等の効果により円安・株高が進行し景況感に改善の兆しは見られたものの、一方で原材料費や電気料金の値上がり、本年4月からの消費増税による影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループは2014年1月に味の民芸フードサービス株式会社（以下「味の民芸」）の株式を取得し、グループ全体で店舗数280店舗、社員数705人、パートナーさん約6,500人（2014年3月末現在）の大所帯となりました。また、



味の民芸は首都圏を中心に、そしてサガミは中部圏を中心に店舗を展開していることから、この両社が一体となることで、日本経済を牽引する2大経済圏を基盤とする理想的な企業グループが誕生することとなりました。

決算内容につきましては、当社の新中期経営計画とともに本誌に記載しておりますので、ご高覧戴ければ幸いに存じます。前年度は繰延税金資産を計上いたしました。これを計上できるということは、今後も安定的な利益体質の企業になったことを意味しております。体質改善が進みましたのも、偏に株主様のご支援の賜と深く感謝いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

代表取締役社長 鎌田 敏行

●連結売上高



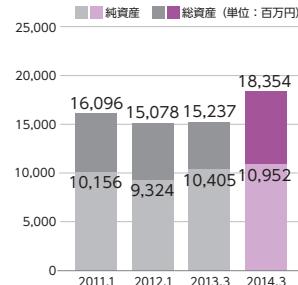
●連結経常利益



●連結当期純利益



●連結純資産・連結総資産



(注) 前期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2013年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

企業価値向上に向け、更なる改革を実行

■当期の業績と特徴

Q. 景況感は改善に向かっているとされます。サガミグループの取り組みについて教えてください。

鎌田 アベノミクスが2年目に入り、日本経済は漸くデフレから脱却しつつあるように思えます。外食産業全体では、デフレの勝ち組だったFF（ファーストフード）よりFR（ファミリーレストラン）の業績改善が顕著となってきており、当社グループにおいては、売上高19,521百万円、営業利益529百万円、経常利益575百万円、当期純利益595百万円の結果となりました。当期純利益は14年振りの水準です。昨年度は、新しい試みとして国内ではショッピングモール内への出店、経営者育成と店舗の活性化を目的に「オーナー店舗制度」の導入、中部圏を中心に和食麺処「サガミ」24店舗にて「モーニングサービス」などを実施いたしました。また、海外ではASEAN諸国への出店のために「SINGAPORE SAGAMI PTE., LTD.」と「BANGKOK SAGAMI CO., LTD.」を設立いたしました。

■経営の改善・改革

Q. この1年もスピード感をもって経営改革に取り組んできました。どのような点に最も力を注ぎ、どのような成果が生まれましたか。

鎌田 私は、社長就任以来、意識改革、制度改革、組



織改革をベースとした「グループ経営の強化」「科学的経営の推進」「研修制度の拡充」を推進してまいりました。この3本の柱を愚直に実行した結果が、サガミグループのV字回復に繋がっていると確信しており、昨年度においても様々な施策を実行してまいりました。グループ経営の強化については、後方業務を株式会社サガミサービスに一本化し、株式会社サガミフードに購買部門、工場部門、物流部門、海外部門を纏めてまいりました。これにより、M&Aを視野に入れたグループ再編が容易になるなど、戦略的かつ機動的なグループ経営が可能となりました。次に、科学的経営の推進ですが、当社グループがKPI（重要業績評価指標）を導入してから2年が経過しました。全従業員が自分の役割を理解し実行した結果、前年対比での達成項目が増えてきております。最後に研修制度の拡充については、初めて役員研修を導入いたし



ました。全役員が同じ会社で研修を受けるのではなく、各人が夫々違う研修を受けることで、結果として、会社に様々な考え方や知識などを蓄積することができました。これからも、この3本の柱を中心に改革を深化させてまいります。

Q. 新しい中期経営計画が発表されました。コメントをお願いします。

鎌田 新中期経営計画については、「科学的経営の推進」「コストの聖域なき見直し」「経営基盤の強化」を更に進めた内容で策定してあります。これは私の社長就任以来ブレることなく推進してきており、安定的に利益が確保できる体質となりましたが、本紙面に記載の通り、人件費・エネルギーコスト・食材費の上昇を反映した数値となっております。コスト上昇圧力は続くと思われませんが、中期経営計画達成を目指し、グループ全社で鋭意努力してまいります。

Q. 首都圏を中心に約80店舗を展開する味の民芸の株式を2014年1月付けで取得しました。今後、どのようなシナジーが期待できますか。

鎌田 味の民芸は、2014年1月に連結子会社となりました。味の民芸のグループ化はサガミの歴史上最大の投資ですが、5年前から温めて来た構想であり、戦略的に非常に重要なことと考えております。

今後は如何にシナジーを最大化するかに取り組んでまいります。このために新年度組織では専門部署である「シナジー室」を新設し、様々な角度から検証と融合を図ってまいります。また、幹部クラスでは人的交流、物流、購買、製造、店舗開発などを既に進めておりますが、本年度においてはこれを加速してまいります。

■海外成長戦略

Q. 中国・上海に加えて、この4月にはタイ・バンコクでASEAN諸国初出店が実現しました。加速する海外展開について抱負をお聞かせください。

鎌田 将来的には海外と国内の店舗数は同数を目指し、更には海外が国内を上回る程に拡大させたいと考えております。2014年3月までに、5カ国に1年ずつ



派遣していた語学研修生が全員帰国し、サガミの海外展開は第二段階となりました。中国など東アジアを統括する香港サガミ、ASEAN諸国を統括するシンガポールサガミは設立済みですが、両社を更に統括するサガミインターナショナル株式会社を2014年4月に新設いたしました。

更に、4月25日にASEAN第一号店舗をタイ王国バンコク市に開設いたしました。正式開店前のソフトオープン以来、計画を大幅に上回る結果となっていることから、今後はASEAN諸国に向こう5年で合計20店、その内タイに10店を展開したいと考えており、「チャイナ+1」ならぬ「タイ+1,2,3」の方針で進めてまいります。

Q. あらためて株主の皆様にも今後に向けた決意をお聞かせください。

鎌田 当社グループは、新たに「味の民芸」という仲間を迎え、更には新中期経営計画を発表いたしました。改革のスピードを更に上げて、企業価値向上に努めてまいります。業績面では回復基調ですが、従業員全体で常に危機感を共有しながらグループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」を目指し、中期経営計画達成の為に鋭意努力してまいりますので、株主の皆様には今後ともご支援・ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画（～2016年3月期）について

この度、当社グループでは時代の変化と顧客ニーズをとらえ、「No.1 Noodle Restaurant Company」を目指し、次代の成長を確固たるものとすべく中期経営計画を策定しました。

【基本方針】

- ① ビジョン“No.1 Noodle Restaurant Company”の共有
- ② 改革の継続（意識改革・制度改革・組織改革）
- ③ 営業利益率重視の経営
- ④ グループ経営の強化

【目標数値】

	2014年3月期実績	2015年3月期計画	2016年3月期計画
売上高	19,521	24,700	26,300
営業利益	529	580	730
経常利益	575	625	780
当期純利益	595	385	510

【成長戦略】

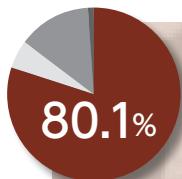
- ① 既存店の収益力向上
- ② 低採算・不採算店舗の積極的な業態転換
- ③ 積極的な出店
- ④ 時代のニーズに対応したメニュー・商品政策
- ⑤ 子会社とのシナジー

【設備投資計画】

	設備投資金額	国内新規出店数	海外新規出店数
2015年3月期	1,200百万円	7店舗	7店舗
2016年3月期	1,300百万円	7店舗	10店舗

* 設備投資金額には業態変換や既存店改装費も含まれております。

部門別外食事業の状況

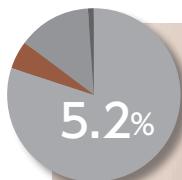
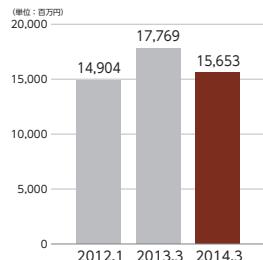


和食麺類部門

15,653百万円

和食麺類部門では、全店販売促進企画として「大感謝祭」を3回、「料理フェア」を8回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県で「こだわり テレビCM」を8パターン放映いたしました。これにより、既存店売上高は前年同一期間（4月1日から翌年3月31日）で4.1%増となりました。

■対象店舗

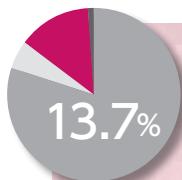
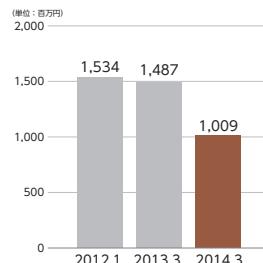


どんどん庵部門

1,009百万円

どんどん庵部門では、「どんどん祭り」を3回、「料理フェア」を10回実施いたしました。店舗関係では、4月に長喜町店、11月に葵町店、3月に小古曽店を閉鎖し、7月に星見ヶ丘店をあいそ家Kitchen大山田店としてリニューアルオープンいたしました。

■対象店舗

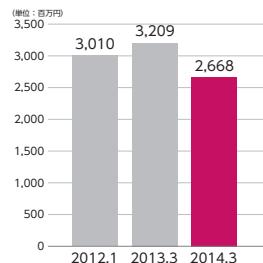


その他の部門

2,668百万円

その他の部門の店舗関係では、フランチャイジーの「かつや」2店舗の営業権を売却し、12月にごはん処「平子橋食堂」を閉鎖いたしました。4月にショッピングセンターのバロー大津店、9月にはイオンタウン西店に「サガミ村」を出店いたしました。

■対象店舗



(注) 前期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2013年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となり、対前期比増減率は記載しておりません。

連結財務諸表 (要約)

(注) 前期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2013年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2014年3月31日現在	2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	4,438	3,984
固定資産	13,916	11,252
有形固定資産	9,012	8,171
無形固定資産	1,155	132
投資その他の資産	3,748	2,947
1 資産合計	18,354	15,237
負債の部		
2 流動負債	4,568	3,133
3 固定負債	2,832	1,697
負債合計	7,401	4,831
純資産の部		
株主資本	10,800	10,334
資本金	6,303	6,303
資本剰余金	3,405	3,405
利益剰余金	1,097	626
自己株式	△6	△1
その他の包括利益累計額	143	57
少数株主持分	9	12
4 純資産合計	10,952	10,405
負債・純資産合計	18,354	15,237

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2012年1月21日から 2013年3月31日まで
売上高	19,521	22,599
売上原価	6,011	6,893
売上総利益	13,509	15,705
販売費及び一般管理費	12,980	15,049
営業利益	529	656
営業外収益	93	84
営業外費用	46	68
経常利益	575	672
特別利益	122	8
特別損失	165	152
税金等調整前当期純利益	532	528
法人税、住民税及び事業税	119	94
法人税等調整額	△180	△9
少数株主損益調整前当期純利益	593	443
少数株主損失 (△)	△2	△3
当期純利益	595	447

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2012年1月21日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,188	281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△824	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164	92
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	295	100
現金及び現金同等物の期首残高	3,118	3,017
現金及び現金同等物の期末残高	3,413	3,118

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

① 財務のポイント

- 総資産**：総資産は、18,354百万円と前連結会計年度末に比べ3,117百万円の増加となりました。
- 流動負債**：流動負債は4,568百万円と前連結会計年度末に比べ1,434百万円増加しました。これは主に短期借入金680百万円および未払金487百万円の増加ならびに1年以内返済予定の長期借入金287百万円の減少によるものであります。
- 固定負債**：固定負債は2,832百万円と前連結会計年度末に比べ1,135百万円増加しました。これは主に長期借入金704百万円および退職給付に係る負債282百万円の増加によるものであります。
- 純資産**：純資産は10,952百万円と前連結会計年度末に比べ547百万円増加しました。これは主に利益剰余金470百万円の増加によるものであります。

味の民芸フードサービス株式 会社の株式を取得

当社グループは、本年1月に味の民芸フードサービス株式会社を株式取得によりグループ化いたしました。味の民芸は社歴も長く、また関東地域を中心に知名度も高く、中部地域を中心に展開している当社とグループ化することで、地域的な補完と食材の共有によるシナジーが期待でき、高い競争力を保つことができます。



アサ 『朝ガミ 健やかモーニング』、 中部エリアを中心に拡大中!

和食麺処「サガミ」の一部店舗では、モーニングサービスを実施しております。朝の午前7時～11時にて、メニューはお好みのドリンク、トースト、ゆで卵、小サラダを付けて税込価格340円で提供しており、大変ご好評を戴いております。今後もモーニング店舗を拡大していく予定ですので、お近くにお越しの際は、ぜひご利用下さいませ。



(2014年3月31日現在)

■会社概要

商号 株式会社サガミチェーン
 設立年月日 1970年(昭和45年)3月4日
 資本金 6,303,521,149円
 従業員数 705名
 本社 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
 店舗数 280店舗
 グループ企業 味の民芸フードサービス株式会社
 株式会社ディー・ディー・エー
 株式会社サガミフード(旧:株式会社
 エー・エス・サガミ)
 株式会社サガミサービス
 上海盛賀美餐飲有限公司
 HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.
 SINGAPORE SAGAMI PTE.,LTD.
 BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.
 NADEERA GLOBAL CO.,LTD.

■役員 (2014年6月26日現在)

代表取締役社長 鎌田 敏行
 代表取締役副社長 伊藤 修二
 取締役 長谷川 喜昭
 取締役 伊垣 政利
 取締役 鬼澤 修
 取締役 長屋 昇
 取締役 千住 憲夫
 常勤監査役 藤井 博規
 常勤監査役 神田 敏行
 監査役 井口 浩治

(注) 1. 取締役 千住憲夫氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。
 2. 監査役 藤井博規および井口浩治の両氏は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

■株式情報

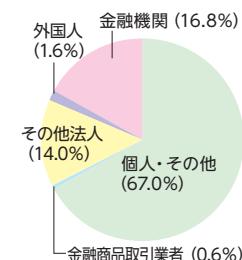
1. 発行可能株式総数 74,630,000株
2. 発行済株式総数 24,972,784株
3. 株主数 13,924名
4. 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	999	4.0
株式会社愛知銀行	749	3.0
北村昌夫	637	2.6
岩月康之	494	2.0
サガミ共栄会	471	1.9
栗本美子	460	1.8
株式会社昭和	433	1.7
第一生命保険株式会社	399	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	397	1.6
大嶋つぎ子	375	1.5

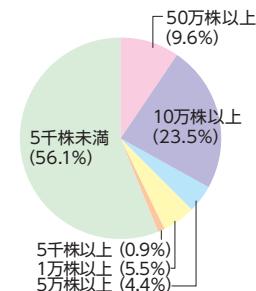
(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

5. 株式分布状況

①所有者別分布



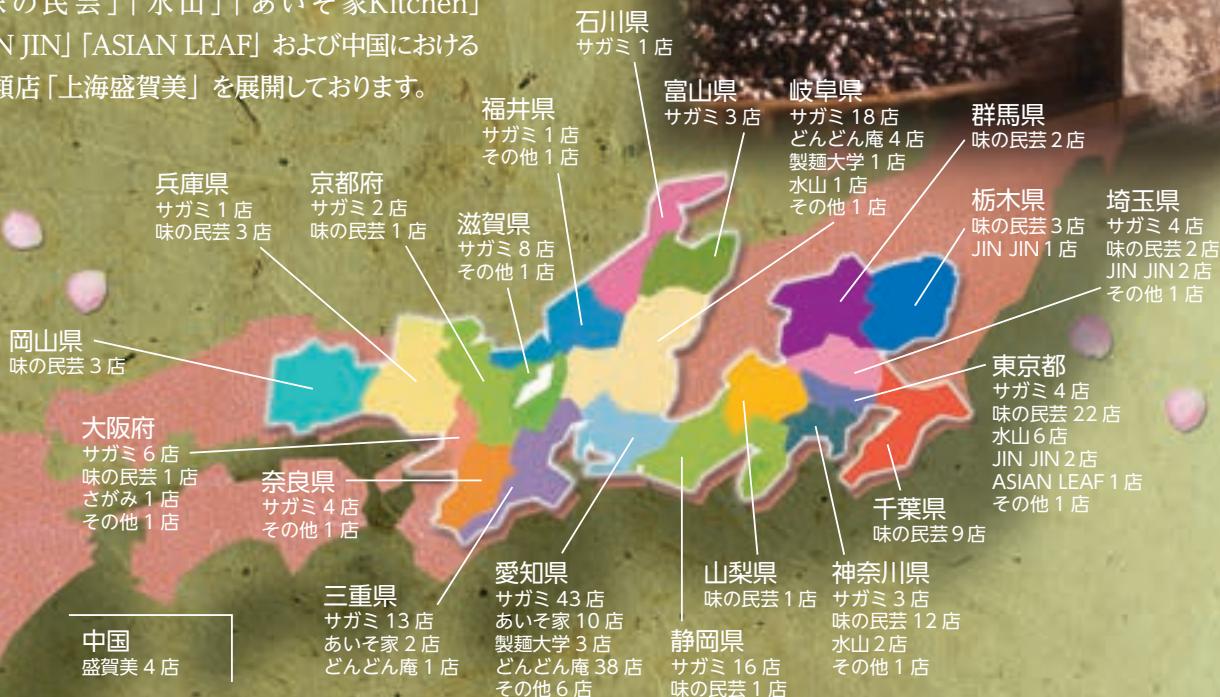
②所有株式数別分布



店舗ネットワーク

(2014年3月31日現在)

当社グループは、和食麺処「サガミ」「あいそ家」「製麺大学」「どんどん庵」「さがみ庭」「サガミ村」「さがみ」「盛賀美」「陣屋サガミ」「まるど食堂」「味の民芸」「水山」「あいそ家Kitchen」「JIN JIN」「ASIAN LEAF」および中国における麺類店「上海盛賀美」を展開しております。



合計280店舗

BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.の設立

ASEAN諸国においては、日本食の注目が集まっております。そのために当社では、タイ王国を重要な成長戦略の一つと位置付け、今後の事業拡大を推し進めていくために新会社を設立いたしました。



和食の原点とも言えるそば、うどんのおいしさを中心にして独自のチェーン展開を行ってきた「サガミ」。より気軽に、楽しく「和」のおいしさを味わって戴くため私たちが選んだのは、全店直営というスタイル。それは経営思想はもちろん、私たちが目指す最大限のおもてなしを、店舗運営の隅々にまで行き届かせるためのもの。もちろんそこに確立されているのは、店舗のデザインに始まり、接客スタイル、メニュー構成、営業時間にいたるまで、すべてはおお客様の声に応え、より喜ばれるために築き上げてきた有形、無形の「サガミ」らしさの集積です。



どんどん庵

43店舗



セルフ式の麺類店を展開中。メニューは「うどん」「きしめん」「そば」「丼」を中心に「天ぷら」など。また、あんかけスパゲティの店舗も展開しております。

あいそ家

12店舗



カジュアルなお店がコンセプト。毎日でも来店して戴けるお店、家庭の食卓と同じ感覚で利用してもらえるお店・・・そんな身近なお店をイメージしています。

さがみ庭

1店舗



嵯峨野の美味を味わう。ゆったりと、たゆとう時空間の中で味わう「和の食」。大切な方のおもてなし、お仲間同士のご会食に。

製麺大学

4店舗



当社の麺に対するこだわりを、よりお客様に身近に感じて戴くために、粉の配合から、熟成・製麺にいたるすべての工程を店内で行う、大型セルフうどん店です。

盛賀美

4店舗



世界においても、味にこだわり続けます。上海のお客様に本格的な「日本のうどん」を食べて戴きたい。そんな願いを込めて提供しております。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月下旬	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	インターネット ホームページ	http://www.sagami.co.jp/
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufig.jp/daikou/		

■復興特別所得税に関するご案内

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、**2013年1月1日から2037年12月末まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることになりました。

■株主優待のご案内

当社株式を1,000株以上保有されている株主の皆様方に、年間一律3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券(1万5千円を年2回)を贈呈しています。これは、株主の皆様にも、当社のこだわりの味を実際に味わっていただくことが目的です。1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「あいそ家」「さがみ庭」「どんどん庵」「製麺大学」「盛賀美」「陣屋サガミ」「まるど食堂」「サガミ村」「さがみ」「味の民芸」「水山」「あいそ家Kitchen」「JIN JIN」「ASIAN LEAF」全店でご利用いただけます。



《 権利確定日：毎年3月31日、9月30日 》
《 発送予定：毎年6月下旬、12月中旬 》

株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
電話 (052) 771-2126

